



Don't be shy.

- ▼You too.
- ▼I could talk about Taylor Swift a lot.
- ▼I couldn't understand her English.
- ▼She likes math and science.
- ▼I can't see you. (～スカイプを使いこなせず、テレビ電話ができなかった私へ。)
- ▼"Hello!" "Hi! nice to see you!"
- ▼I want to visit FujiKyu highland! And I want to ride the roller coaster!
- ▼相手：How do you see me?
私：Ah…cute?
相手：Yeah? (電波悪く)
私：cute!! cute!! …cute!! (一気に相手に届く)
相手：Oh cute cute cute cute , oh OK OK OK. Thank you.
私：は？
- ▼You are cute♡
- ▼I could talk about teacher's favorite band with her.
- ▼Don't be shy.

*

●●くんは、せっかく白衣を着ていってやる気十分だったようだが、残念ながら機械の調子が今一つで、なかなかその勇姿を相手の先生に見せられず残念だったが、最後には何とかつながって、科学に関する話題にも触られたようで何よりである。

今回は、来週木曜日の9時間目(16:10～)ということだから、遅れないように集合すること、部活の途中の人は部活の格好でもよいとのことなので、さらに話題が深まるように、大いにチャレンジ精神を発揮してもらい

たいものである。

ちなみに、先週の「人間と社会」の時間にコミュニケーションに関する講演を聞いたが、講師の野島氏によれば、コミュニケーションは技術であり、練習や心がけでその力が向上することだから、ぜひこの機会に、この前の話を生かす観点も意識してみたらどうだろう。

例えば、野島氏は、話を聞く側の時には、しっかりと相づちを打つことが大切だということを強調されていた。だから、「なるほど(I see.)」とか、「そうですね(right.)」とか、「ホント?(really?)」とか、「確かに…(That's true.)」とか、「その通り!(Exactly!)」など、色々な応答ができるように工夫してみたらどうだろう。また、聞いた話を広げていくためには、その話題についていろいろな観点から質問を考えることが重要だともおっしゃっていたように記憶する。私はうっかりメモを取ることを忘れてしまったのだが、君たちはしっかりメモをとったはずだから、あの時のメモを見直して、次回のオンライン英会話に備えてほしい。英語だから、むしろ色々なことが試しやすいということもあるかも知れないしね。

ところで、Fuji-Q-HighLandはフィリピンで話題なのだろうか(笑)。東南アジアの方々は、雪や氷を珍しがるということだから、冬の日本の一大人気スポットになっているのかも知れない。それとも話題のアトラクションでもあるのだろうか。そんなことも分かって、なかなか面白い体験である。